

科目名	社会福祉総論Ⅱ					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4412

●授業のテーマ

福祉政策の特質と関領域，サービス利用の仕組み

●到達目標

福祉政策の対象と資源，公私にわたる各主体の役割と手法など，政策として実施されている枠組の基本を理解する。また，関連領域との区別・関連をふまえて，福祉サービスの供給・利用体制や援助活動の特徴をつかみ，他国と比較して深めるための視点も得る。

●学習内容(授業概要)

福祉政策・制度の仕組みについて具体的な考察をすすめる。福祉政策の主体が有する特徴を私的領域や市場部門との対比から明らかにし，さらに労働・生活に関連する他の領域との関係を把握して相互の協力・連携のあり方を深める。また，福祉サービスの供給・利用体制，援助活動に関する最近の潮流を理解し，国際比較に必要な知見も加えて今後の発展方向を探っていく。

●学習内容(授業計画)

1. 社会福祉の原理と仕組み－後期の概要とねらい
2. 福祉政策における必要と資源 ①必要（ニーズ）とは
3. ②必要と資源
4. 福祉政策の主体と手法 ①個人，市場，家族
5. ②政府，地域
6. 福祉政策の関連領域 ①所得政策，保健・医療
7. ②教育，住宅
8. ③雇用，人権擁護、震災対策
9. 福祉サービスの供給 ①サービスの供給部門
10. ②サービスの供給と利用過程
11. 福祉サービスと援助活動 ①原則・視点と方法
12. ②地域福祉への展開
13. 福祉政策の国際比較 ①欧米
14. ②東アジア
15. 半期のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備では，テキストの予習を行って重要な考え方や用語等をチェックしておき，講義でより深い理解を得られるようにする。事後には，自分が関心を深めた内容やテーマ，疑問などをさらに探求することに心がける。

●成績評価方法・基準

出席状況：3割

期末試験：7割

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：『新・社会福祉士養成講座 4 現代社会と福祉』（第4版）、著者名：社会福祉士養成講座編集委員会、出版社：中央法規、販売先：Yショップ、備考：改定があれば、その最新版を用いる。

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

社会福祉の小六法（最新のもの）や用語辞典を備えておくのが望ましい（出版社は自由）。

●履修上の注意

社会保障・福祉の制度，国民の労働・生活をめぐる話題や情報について，マスコミ等をつうじて日常的に得ておくこと。